



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより

Nishi Eye Hospital

第6巻2号

(季刊誌)

2004年4月発行

編集責任者：倉橋美雪

西眼科病院 〒537-0025 大阪市東成区中道4-14-26 TEL: 06-6981-1132
<ホームページ><http://www.nishi-ganka.or.jp> <e-mail>office@nishi-ganka.or.jp

網膜剥離 もうまくはくり

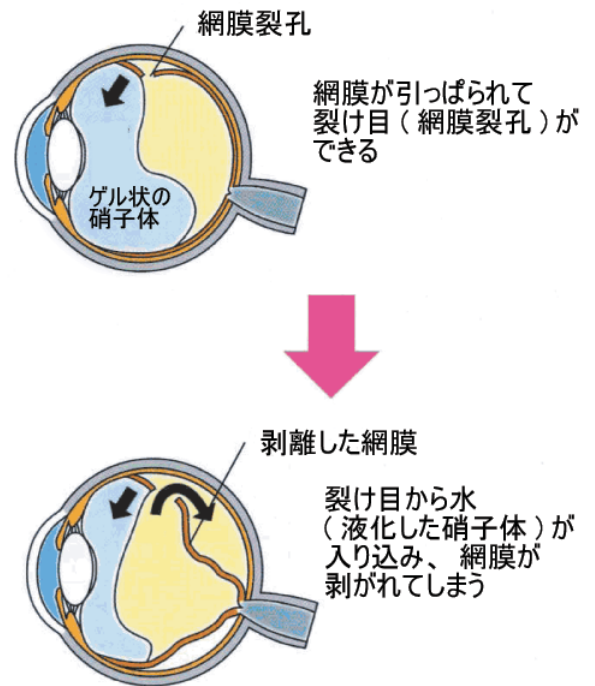
網膜は眼の奥にある薄い膜で、ものを見るための大切な部分です。網膜がはがれ、硝子体(目の中のゼリー)に浮き上がることを「網膜剥離」といいます。

一番多い原因は網膜に裂孔^{れっこう}ができる「裂孔原性網膜剥離」です。中高年になるとゼリーが溶けて液体になり、眼球の動きとともに硝子体が揺れ動くようになります。硝子体と網膜が強く癒着している部分があると、引っ張られ裂孔ができます。その裂孔から液が網膜の下に入り込み網膜は剥がれてしまいます。これが「裂孔原性網膜剥離」です。

ボールが目当たるなど、強い力が目に加わって網膜が剥離してしまう「外傷性網膜剥離」もこのひとつです。その他、糖尿病網膜症、ぶどう膜の炎症や、眼の癌が原因で網膜が剥離することがあります。以下のような症状があれば検査を受けましょう。①黒い点やゴミのようなものがみえる(飛蚊症) ②眼の中でぴかぴかと光って見える(光視症) ③見えているものの一部が見えない(視野欠損) ④見たいものがはっきりみえない(視力低下)。

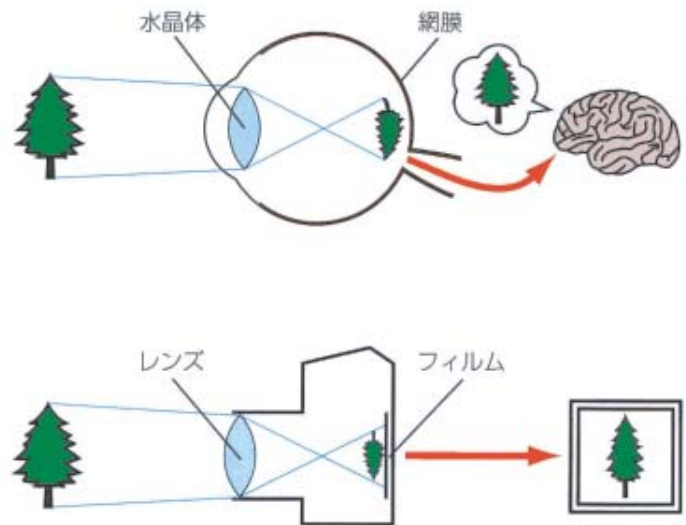
一般的な検査には、点眼薬で瞳を開き眼底を調べる「眼底検査」や、また見えない部分の位置を調べる「視野検査」等があります。眼底検査で裂孔が見つかって網膜が剥がれていない時期であればレーザーを使って裂孔をふさぐことができます。この治療は入院せず、外来でできます。一方、症状が進行していれば手術となります。もし網膜剥離が発見されたら、できるだけ早く入院し安静にしましょう。体や目を動かすと剥離が広がる恐れがあるからです。

当院では最高の設備を備えておりますので安心して手術を受けていただけます。詳しくは医師と御相談ください。



ものが見えるしくみ

網膜はカメラでいうフィルムの役割を果たしています。ものを見るとき、光は角膜を通過して瞳孔から眼球内に入ります。水晶体で屈折されたあと、硝子体を通り、網膜に到達します。このとき網膜で感じとられた光の刺激が視神経を通過して脳に伝えられ、「見える」と認識されます。つまり網膜は、カメラにたとえるとフィルムのような役割を果たしているといえます。



駐車場

当院玄関横に専用駐車場(11台)があります。御利用の際は、受付にて「駐車券」を受け取られ、フロントガラスから駐車券が見えるように置いてください。特に月・水・金の午前中は駐車場を御利用される方が多いため混み合い、大変御迷惑をおかけしております。駐車スペースがない場合、お急ぎの方は近くに「有料駐車場」を御利用くださいますようお願い致します。また、なるべく電車・バスを御利用ください。

